

2024年3月18日(月)

老球の細道783号

ビールを飲めなかったのは「どこのドイツだ」⑥

・・・ユーロバスケットボールツアー紀行〈Ⅱ〉・・・

会津バスケットボール協会 室井 富仁

【2009年12月27日】PART 2

午後はトスティンコーチの講義である。今まではコートの中だけのクリニックだったが、今回初めてVIPルームにおける講義となった。テーマは「コーチングモチベーション」。コーチとしてどのように自分自身のモチベーションを上げるか。また、コーチ同様、プレイヤーについても色々な具体例を挙げて説明してくれた。内容はバスケットボールのみに止まらず、人間としてどうあるべきかを考えさせられるものであった。若干30代の後半であるが、プロコーチとして修羅場、正念場、土壇場を歩んできたせい、話していることはまさに目から、耳から、鼻からも鱗であった。プロとアマチュアの格の違いを感じさせられた。

この講義で、彼が特に強調し、印象に残った『Three Who-quest ion』を紹介しよう。

① Who am I today ?

② Who can I be tomorrow (in the future) ?

③ Who do I want to be tomorrow (in my life) ?

「今日はどうだっただろう。明日はどうかな。明日、自分を変えたければ、今日何かをしなければならない。人間だけが意志によって180度人生を変えられる」

その後、再びアントンコーチによるマンツーマンディフェンスのヘルプ練習が紹介された。コーチのフィロソフィー(哲学)が色濃く表れた練習で、これまた新たなアイデアを学習することができた。

夕食は楽しみのビール工場へ。99ersのスポンサーでもある。ドイツは世界でも有名なビール産地で、どこへ行ってもおいしいビールが飲める。私の幸せ3原則にもあげている。「汗をかいた後のビール! 頭を使った後のコーヒー! そして、努力の後の勝利!」。

驚いたのは地元のマスコミが私たち取材に来ており、工場を見学する様子、食事をする様子などをテレビカメラや写真などにおさめていた。ここで私は最年長だったために代表してインタビュー取材を受けたり、新聞記事の写真に載ったりと夜の主役になった。ただ残念だったのは、インタビュー時間が長くて食事する時間がなくなったことである。どれほど残念だったか、11種類あった飲み放題のビールをたった1種類しか飲めなかったのである。飲みつぶれていた若者がいたのに、私は冷静なままホテルに帰らなければならなかったのである。これがどれほど残念なことかはビール命の方々にはわかってもらえるだろう。

1日の締めくくりが理不尽であったけれども、年寄りを引き立てるトスティンの温かい心配りに感謝しながら今日の無事を祈り、大きすぎるベッドに身体を横たえた。(続く)